

ベッドコントロールセンター

Bed Control Center



病床の効率的運用の 実現を目指して

ベッドコントロールセンターは、積貞棟の開設にともなう大規模かつ断続的な病棟移転が控えていた平成22年に、病院運営企画室のプロジェクトチームとして発足した。移転時には、病院内の安全を確保しつつ入院患者の受け入れに支障を来さないよう、各病棟・各診療科とも連携して病床の効率的な運用に取り組んだ。この方針を積貞棟移転後も積極的に果たすべく、移転終了後も引き続き活動を継続している。

平成27年度より、規程を整備し病院の正規の組織として位置づけられることとなった。現在、効率的な病床運用を推進するため、定例会議やヒアリングなどを通じて各病棟での病床運用実態の把握を行い、病床の効率的運用を図るための方策についての検討を行っている。

業務内容の特徴と実績

副病院長（診療担当）を含む教員、看護師、事務職員で構成され、定例会議やヒアリングなどを通じて、運用実態の把握を行い、病床の効率的運用を図るための方策についての検討を行っている。

- ①定例会議やヒアリングなどを通じた、各病棟での病床運用実態の把握
- ②各病棟での運用実態を踏まえた、効率的な病床運用の提案
- ③稼働状況に関する、院内への具体的な情報提供

